

実践報告 わがJAの営農事業改革の実践と課題

一産地力・販売力強化に向けた改革の実践一

茨城県 なめがたしおさい農業協同組合
代表理事専務 金田 富夫

- JAなめがたしおさいの概要
- JA自己改革とは・・・改善でなく改革
- 販売戦略の考え方・・・営農における5つの視点
- 出荷 ～ 販売へ
- 取り引き ～ 取り組みへ
- どん底から這い上がっての、日本農業賞大賞・天皇杯受賞
- 焼き芋戦略
- グローバル産地化への取り組み
- 産地提案型で開発した商品
- 今後の課題

○ JAなめがたしおさいの概要

当JAは、2019年2月1日、旧JAなめがたと旧JAしおさいが合併して誕生した新しいJAです。

管内は茨城県の南東部に位置し、行方市・潮来市・鹿嶋市・神栖市の4市からなり、霞ヶ浦・北浦・鹿島灘に囲まれた、半島状の地形となっています。

中央部を南北に横断する行方台地は保水と透水に優れた関東ローム層の土壌を持つ畑作地帯で大規模畑作によるサツマイモやエシャレットなどの露地野菜のほか、施設栽培では、みず菜・ちんげん菜・大葉・いちごなど約60品目の青果物が生産されています。

鹿嶋・神栖地域は、平地が続き水はけの良い土壌を活かしたピーマンの生産が盛んで、日本一の生産量を誇ります。

そのほか、水郷と呼ばれる霞ヶ浦・北浦両湖岸の水田地帯は関東でも有数の早場米生産の取り組みや水田を活用したレンコンの栽培が盛んになっています。

当産地は、都心より100キロ圏内に位置し、『首都圏の台所』として生鮮野菜の供給一大産地づくりを推し進めています。

組 合 員 数	正組合員：12,228名
(18,229名)	准組合員：6,001名
出 資 金	3,321百万円
職 員 数	279名（うち臨時・パート：95名）
貯 金 残 高	118,806百万円
貸 付 金 残 高	22,134百万円
長 期 共 済 保 有 高	321,082百万円
購 買 品 供 給 高	4,302百万円
販 売 品 販 売 高	20,990百万円

(令和5年1月31日現在)

◆ 経営理念

組合員との絆を大切にして、地域に根ざした農業と食文化を守り、地域住民に愛され信頼されるJAを目指します。

また、経営の健全性の向上と強靱な経営体質づくりを基本に事業体制の整備を進めます。

1, 組合員・地域住民へ貢献できる組織

1, チャレンジ精神を発揮できる職員と職場

- JA自己改革とは・・・**改善でなく改革**
 - ・ JA自己改革とは、役職員一人ひとりの**意識改革**
 - ・ **JAらしく無い**・・・JAを目指す『JAの姿』

- 販売戦略の考え方・・・営農における5つの視点
 1. 情報力
 2. 企画力
 3. 商品力
 4. 組織力
 5. 機動力

- 出荷 ～ 販売へ
 - ・ 営業活動による情報の共有
 - ・ 委託販売から商談
 - ・ プレゼン活動におけるデジタル化

- 取り引き ～ 取り組みへ
 - ・ win = win
 - ・ 事業拡大
 - ・ 信頼・信用の確保

- どん底から這い上がっての、日本農業賞大賞・天皇杯受賞
 - ・ 強いリーダーシップ

○ 焼き芋戦略

- ・ 売り方の提案
- ・ 貯蔵施設整備による周年安定出荷
- ・ 食味を重視した出荷体系の実現
- ・ 組織活動を通じた人づくり
- ・ 実需者・消費者への積極的な産地PR

○ グローバル産地化への取り組み

- ・ 農家生産者の所得増大・・・需要と供給のバランスを海外で
- ・ 日本食文化を海外展開・・・日本食の美味しさ・文化
- ・ 職員のスキルアップ・・・チャレンジ精神

○ 産地提案型で開発した商品

- ・ きゅうり出荷形態・・・八百屋さん～スーパー
- ・ フルーツトマト・・・「味」や「こだわり」を追求・差別化
- ・ みず菜・・・量販店の新たなニーズに応じた提案

○ 今後の課題

- ・ 魅力的な農業（儲ける農業？ 儲かる農業？）
- ・ JAの危機感と存在感
- ・ 持続可能なJAは、持続可能な農家の育成から